

1月25日(水)大雪の中お話をしてくださった福商同窓会長の引地先生より皆さんのお礼状に対する返信をいただきました。皆さんのお礼状と質問に対して何度も読んでその答えを考えていただきました。壮絶な人生を送られた先輩のお話で「私たちもまだまだやれる」と勇気をいただきました。

3年生の皆さん

十代の若者らしいそれぞれの感性で、私の訴えたいものをしっかりととらえて頂いた事に感謝と感動を覚え、三回熟読させて頂きました。

皆さんのみずみずしい感性に、私の真意が伝わっていた事に励まされ、未来を築く若者たちに伝えなければならないとの認識が蘇りました。勇気と気迫「不撓不屈」の校訓のように、夢に向かって全力であきらめずに努力していく事の大切さ、人の絆は一生の宝、人はひとりひとりに良さがある。思いやりの心の大切さ、皆さんの的を得た決意と覚悟に心洗われるおもいがしました。

皆さんからの質問の要旨にお応えします。

(①～⑭質問 「答え」)

- ①人生(生きること)へのこだわりは?「自分の生き方に誇りを持って、自らを語る生き方を目指す」
- ②精神的に追い込まれ、心が辛く耐えられなく落ち込んだ時、自分に自身がなくなったときどのようなことを行っていましたか?「おおいなる自然と向き合う、夕焼けの茜雲、海の水平線」
- ③こころを強く持てない時、強い心を持つには?「最後まであきらめないこと、全力を尽くすこと、俺ならできると自信を持つこと、負けると分かっているでも全力で戦わねばならないときがあると自らに言い聞かせる。感性豊かな若者の自己錬磨(自ら悩み考える力)に勝るものはありません」
- ④悲惨な過去をどう乗り越えて生きられたのか?「夜明けを待たず、医師に看取られる事なく、母の腕の中で幼い命の火が消えていく、母の号泣する姿、母の涙・・・幼い妹を亡くした母のまなざしに込められていたもの、この子(私 引地)だけは絶対に生きて日本に連れて帰る強い意志があった。心が折れない事の大切さ、あきらめてはいけないうの大切さを厳しく教えてくれた・・・厳しい引き揚げの旅、泣かない子供と呼ばれた私の強さの原点に母親の厳しい愛があった」
- ⑤安くて美味しい食べ物は?「即席ラーメンをそのまま齧って税理士になった教え子があります」
- ⑥一番大切にしていることは?「愛と力」
- ⑦死生観?「生命の尊厳に勝るものはない」
- ⑧最大のできことは?「愛する人との出会い」
- ⑨教える立場として大切なことは?「恩師の言葉(みんないい子になれるのよ)わけへだてしないこと」
- ⑩挑戦したいもの?「人生百年」
- ⑪長生きの秘訣は?「快食・快眠」

⑫幸せだと思うこと?生きる喜びは?「最愛の妻と共に生きていること」

⑬未来への不安は?ロシアのウクライナ侵攻?平和な世界にできる事は?「ありのままの現実を直視して考え、絶望という言葉を死語にして、人間という哺乳類の原点、あかちゃんは愛無くして生きられない、人間愛の復活をいかに図るか」

⑭先生以外の進路は考えた?「最高齢77才の教え子という宝物に囲まれた恵まれた人生、生徒のために何が最善かをもって決断してきた生き方、(教師という)天職を得たと自覚している」

皆さんの心の中に私の青春と共通するものが多くありました。真剣に前向きに私の訴えたいものを心にとめて頂いた皆さん、本当にありがとう。皆さんの夢の実現を心より願っています。

(令和5年2月19日) 引地 洲 夫

保護者のみなさまへ

3年間長いようで短かった子どもたちの貴重な高校生活をともにできたことに感謝申し上げます。個性あふれる担任6人でこれまで全力で子どもたちと学んできました。入学時まだまだ中学生が抜けない子どもたちでしたが、本当に大人になって卒業を迎えてくれました。保護者のみなさまも一安心されていると思います。

この3年間は楽しいこと悔しいことつらいことがいろいろあったことと思いますが、保護者のみなさまの支えがあり、子どもたちはここまで育つことができたと思っております。学校に対して様々なご意見もあったと思いますが、いつも温かいご理解ご支援ありがとうございました。立派に卒業する子どもたちですが、まだまだ不安が多いことでしょう。子どもたちの力を信じ、同じ大人としてこれからもともに応援していきましょう。

親離れ、子離れの時がやってきました。

学年主任 鈴木裕子

☆3年間の学年だよりは福商ホームページの「生徒・保護者様」でご覧になれます

